
2033. ACL情報登録（ハウス単位） 呼出し

業務コード	業務名
ACL12	ACL情報登録（ハウス単位）呼出し

1. 業務概要

「ACL情報登録（コンテナ船用）（ACL01）」業務（以下、「ACL01業務」という。）にて登録された複数のハウス単位のACL情報を、マスター単位のACL情報にまとめるためにACL01業務に先立ち、システムに登録されているハウス単位のACL情報を呼び出す。

2. 入力者

保税蔵置場、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

1業務で入力可能なハウス用ブッキング番号は最大50件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②入力者が海貨業またはNVOCCの場合は、ACL情報DBに船会社として登録されているNVOCCであるか、または通知先として指定された利用者であること。
- ③入力者が保税蔵置場の場合は、通知先として指定された利用者であるか、またはACL01業務でACL情報DBに通知先コード(CY・CFS)として登録された蔵置場を管轄する利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照

(3) ACL情報DBチェック

- ①入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBが存在すること。
- ②「ACL情報登録（在来船・自動車船用）（ACL02）」業務により登録されていないこと。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) ACL情報登録（ハウス単位）呼出情報編集処理

ACL情報DBよりACL情報登録（ハウス単位）呼出情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) 注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に登録内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
ACL情報登録（ハウス単位）呼出情報	ACL01業務で登録されたACL情報を呼び出す場合	入力者

7. 特記事項

(1) ACL情報DBからの抽出項目について

ハウス用ブッキング番号が複数入力された場合は、後述の①～⑳の項目について、ハウス用ブッキング番号に係るACL情報DBより情報を抽出し、出力する。

- ①積載予定船舶コード、積出港コード、航海番号
- ②船卸港コード、船卸港名
- ③荷受地コード、荷受地名
- ④荷受形態コード、荷受形態名、荷渡形態コード、荷渡形態名
- ⑤荷渡地コード、荷渡地名
- ⑥最終仕向地コード、最終仕向地名
- ⑦輸出統計品目・代表番号
- ⑧インボイス番号

(A) 繰返しの先頭のハウス用ブッキング番号に係るACL情報DBより抽出する項目

- ⑨個数、荷姿コード*1、荷姿名（1欄目）
- ⑩貨物重量（グロス）*2、重量単位コード（グロス）（1欄目）
- ⑪貨物重量（ネット）*2、重量単位コード（ネット）（1欄目）
- ⑫貨物容積（グロス）*2、容積単位コード（グロス）（1欄目）
- ⑬貨物容積（ネット）*2、容積単位コード（ネット）（1欄目）
- ⑭合計個数、荷姿コード*1、荷姿名
- ⑮合計貨物重量（グロス）*2、重量単位コード（グロス）
- ⑯合計貨物重量（ネット）*2、重量単位コード（ネット）
- ⑰合計貨物容積（グロス）*2、容積単位コード（グロス）
- ⑱合計貨物容積（ネット）*2、容積単位コード（ネット）
- ⑲コンテナ本数

(B) 全てのハウス用ブッキング番号に係るACL情報DBより抽出し、システムで計算して出力する項目

- ⑳記号番号*3
- ㉑コンテナ番号*4
- ㉒シール番号
- ㉓個数、荷姿コード、荷姿名
- ㉔貨物重量（グロス）、重量単位コード（グロス）
- ㉕貨物容積（グロス）、容積単位コード（グロス）
- ㉖コンテナサイズコード、コンテナタイプコード
- ㉗コンテナ自重、コンテナ自重単位コード
- ㉘設定温度、温度単位コード

(C) 全てのハウス用ブッキング番号に係るACL情報DBより抽出する項目

(*1) ACL情報DBに登録されている荷姿コードが全て同一でない場合は、荷姿コードに「PK」と出力する。

- (* 2) A C L情報DBに登録されている数量単位コード（重量単位または容積単位）が全て同一の場合のみ、システムで合計値を計算する。
- (* 3) 抽出対象の記号番号が18件を超えた場合は、先頭の18件のみ出力する。
- (* 4) 抽出対象のコンテナ番号が200件を超えた場合は、先頭の200件のみ出力する。